

## 途上国における省エネ基準・ラベリング（S&L）政策の現状と S&L 政策支援の国際的な動向

主催：経済産業省資源エネルギー庁、(財)日本エネルギー経済研究所

開催時期：2011年1月28日(金)午後1時～5時35分

開催場所：品川プリンスホテル

(講演会) メインタワー 32F 「函館」

(レセプション) メインタワー 3階 「もみじ・すみれ・しょうぶ」

### ○ シンポジウムの目的

2006年以降、経済産業省の委託事業として(財)日本エネルギー経済研究所は米国 NPO の CLASP (Collaborative Labeling and Appliance Standards Program) と協力し、中国、ベトナム、インド、タイなど主にアジア諸国におけるエネルギー効率基準及びラベリング(省エネ S&L)制度の構築を支援してきた。近年、国際的な省エネ意識の高まりと共に、省エネ S&L 制度の重要性が認識され国際的な支援活動が活発化している。本シンポジウムでは、そのような国際的な省エネ S&L 制度構築支援の潮流を理解すると同時に、本事業が対象とするアジア途上国における省エネ S&L 政策の現状と課題を抽出することを目的とする。

具体的には、中国、ベトナム、タイ、インドネシア、インドの5カ国から、本事業のカウンターパートもしくは S&L 政策担当者を招聘し、各国における S&L 政策の現状と課題につき報告してもらう。パネルディスカッションを通じて、各国の S&L 政策の課題の共有化と、今後求められる国際的な支援のあり方について議論を行う。

また、シンポジウム終了後には、発表者と来場者の交流会も併せて開催する。